

2022 年 3 月 23 日

報道関係各位

一般社団法人日本化学工業協会

## 日本毒性学会「第 8 回 日化協 LRI 賞」受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:森川宏平(昭和電気(株)代表取締役会長)、以下「日化協」)は、このたび、一般社団法人日本毒性学会(理事長:菅野 純)内に設けられた日化協 LRI<sup>※1</sup> 賞の第 8 回受賞者を次のとおり決定しました。この賞は、研究の奨励および研究者育成の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関して優れた業績をあげた研究者を表彰するものです。

※1 Long-range Research Initiative=長期自主研究活動



[受賞者] 黄 基旭 (ふあん ぎうく)  
東北医科薬科大学 薬学部 教授

[テーマ] メチル水銀による脳内炎症応答を介した毒性発現機構の解析

[受賞理由]

メチル水銀は水俣病の原因物質として広く知られていますが、水俣病の発症から半世紀以上が経過した現在も、その毒性発現機構や防御機構はほとんど解明されていません。受賞者は、タンパク質の翻訳後修飾の一種であるユビキチン化やパルミチン酸化などが、メチル水銀毒性に関与する細胞内タンパク質のレベルや機能を調節することによってメチル水銀毒性の発現調節に関与していることを初めて明らかにするなど、メチル水銀毒性の発現機構を解明するうえでの突破口ともなり得るいくつかの貴重な知見を導き出しました。また最近、メチル水銀を投与したマウス脳内で多数の炎症性サイトカインやケモカインが発現誘導されることで脳神経障害を引き起こすことを見だし、その一部に関わる分子機構を明らかにしました。これまで日本毒性学会奨励賞や日本毒性学会田邊賞をはじめ多くの賞を受賞されており、一貫してメチル水銀の毒性に対する感受性決定機構の研究に取り組まれてきた功績が高く評価されました。

なお、授賞式は、2022 年 6 月 30 日(木)~7 月 2 日(土)に札幌コンベンションセンターで開催される第 49 回日本毒性学会学術年会において執り行われる予定です。

LRIとは、国際化学工業協会協議会(ICCA<sup>※2</sup>)に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年から運営されているグローバルプログラムで、化学物質の安全性の向上と不確実性の低減を目的として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援する自主活動です。日化協は、2000年からLRIを通じて年間1億円規模の研究支援を開始し、2015年に優れた若手の研究者や世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して今回の「日化協 LRI 賞」を設立しました。

※2 International Council of Chemical Associations

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

報道関係者: 日本化学工業協会 広報部 高田 TEL: 03-3297-2555  
一般の方: 日本化学工業協会 LRI 事務局 藤森 TEL: 03-3297-2575